

## ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書



## ※ 記入上の注意

- ①3号様式はページを増やす、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ②3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④提案書、添付資料を審査員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

整備提案名 (25字以内)	公田今昔物語～「公田町の歴史を辿る坂道」整備事業～
提案グループ名 (25字以内)	お互いさまねっといこい応援団
グループの現在 の主な活動内容 及び最近5年以 内の活動実績	<p>①見守り・交流活動 ②買い物支援活動 ③ミニ食堂運営 ④安心センター（見守り拠点）運営 ⑤ハード機器（センサー）による見守り強化</p>
整備場所の所在 地 (町名又は丁目まで記 入)	<p>栄区公田町</p> <p>※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。</p>
整備提案の内容 (どのような整備 を提案するのか文 章で記入してくだ さい)	<p>公田町団地においては高齢化が進み、単身高齢者等の孤立死を予防するための対策が必要となっており、地元NPO等を中心とした見守り活動を更に強化するため、引きこもりがちな高齢者等を地域に引き出すことが有効と考えており、その手立てとして、団地の歴史を映し出す地元の風物写真等を持ち寄ったワークショップを開催し、普段交わる機会の少ない若者と共に地域の記憶を共有する場のセットを行う。ワークショップにより導かれた成果物をタイル等の建築資材に転写し、団地の玄関口である坂の下の擁壁部に貼り付けることによって、団地導入部に相応しい景観形成の創出につながると共に、地域の住民にとって地元に対する愛着を高め共有する場となるような整備を行う。</p> <p><u>整備費用の概算額：約 500万円</u></p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p>
整備提案の動機 や背景 (整備に対する地 域のニーズや整備 によって解決した い地域の課題、整 備の必要性などに 触れながら箇条書き で記入してくだ さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団地中心部のNPO拠点施設「いこい」を中心に広がる地域のコミュニティ形成の一層の推進及び高齢化が進む当該団地において孤立死予防を図るため、特に引きこもりがちな高齢者等を地域に引き出す場として、若者等通常交わる機会の少ない人たちと共に当時の出来事や思い出を語り交流する場（=本件はワークショップ）が求められていた。</li> <li>・公田町団地は坂の上に立地しているため、整備箇所は住民が外出時に必ず通り目にする場所かつ団地イメージを体現する大切な場所であり、相応しい景観形成が求められていた。</li> </ul>

整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)	団地住民や周辺住民及び活動のサポートをして下さる人たちに対して、地元に対する愛着を高め歴史を共有する交流の場としても利用され、引きこもりがちな単身高齢者等の孤立を予防し、地域の更なるコミュニティ形成に貢献すると考える。
整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)	整備施設の維持管理や運営については、施設所有者のUR都市機構を中心に、提案グループが地域住民の意見等を反映させつつしていく予定。
○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するため活用する地域の資源 <small>注4)</small> ○その他提案について特にPRしたい点	○地域の記憶となる地元の風物写真等を中心にワークショップの成果を建築資材に転写し、永続的に保存することにより、それを起爆剤に、一過性では無い地元の交流等を促そうとする点。 ○・団地住民等によるボランティア協力の可能性あり。 ・景観デザインの専門家による協力の可能性あり。 ・UR都市機構から各種支援の可能性あり。

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例
  - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
  - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
  - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
  - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
  - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
  - ・バザーなどで資金を集められそう。

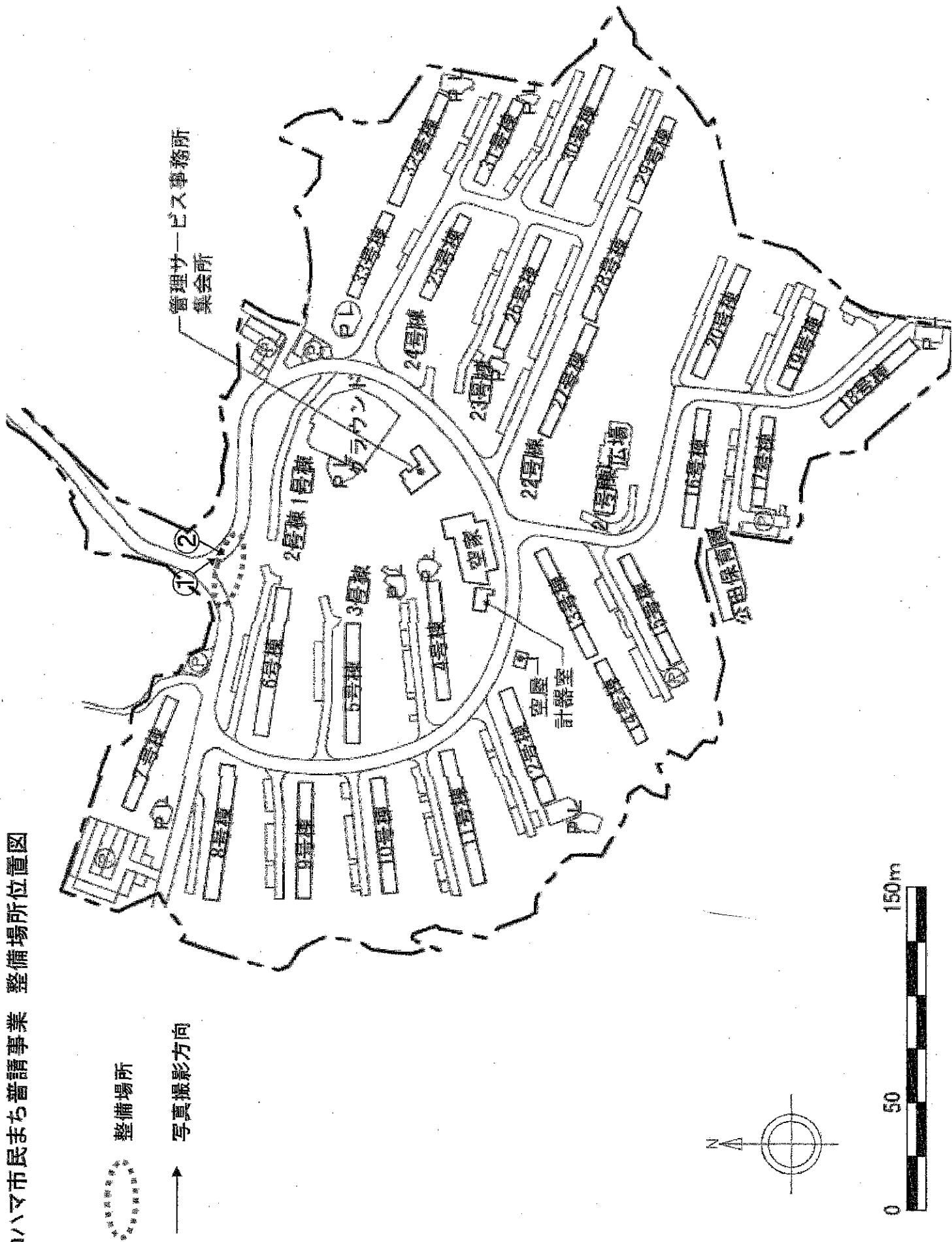
整備場所の地権者等 <small>注5)</small> への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
UR都市機構神奈川地域支社住まいサポート業務部ストック活用計画チームリーダー 清水成俊	当該整備の推進を承諾・支援する。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報は含まれていません。

三コハマ市民まち普請事業 整備場所位置図



ヨコハマ市民まち普請事業 整備提案イメージ図



整備後(イメージ)

